皆さん　　　シカゴだより第202報「太平洋の離れた島々タヒチ」　　　　9月17日（金）

しばらくシカゴだよりをさぼっていましたが、回復する事にしました。5月26日（水）のシカゴだより第196報にヒンズデール病院に1泊入院し大動脈弁逆流症(aortic valve regurgitation)と診断されたことを連絡しました。その後検査は続いており手術はまだですが、間もなくと思います。心配していてもしょうがないので普段の生活に戻ることにしています。

私は子供の頃からフランスの印象派の絵が好きでした。当時画家として特に気に入っていたのは、ロートレック、ゴッホ、ルノアール、ゴーガンなどの印象派画家達でした。シカゴに行ってからも自分で油絵をたまに楽しんでいた事もありました。特に強い印象に残っているのは、ゴーガンがタヒチで生涯の多くを過ごしたことです。そこで私は子供のころから長い間タヒチを訪問したいとの強い願望を持っていました。この旅行は2019年2月に実現しました。しかし、中国でのパンデミック発生直後だったため、タヒチに着いてから、時折我々は日本人で中国のパンデミックとは関係ないとの説明が必要でした。タヒチは太平洋の東南部にある118の島からなるフランス・ポリネシア領です。東京からタヒチまでは飛行機で約11時間かかりますが、アメリカやオーストラリアからもほぼ同等の時間がかかりますので、南太平洋に浮かぶ孤島は楽園の極上バカンスとも呼ばれています。タヒチの島々で良く知られているのはタヒチ島、モーレア島、ボラボラ島などです。我々は、タヒチに到着し一泊してから翌日フェリーで30分ほどの距離のモーレア島のリゾートに滞在しました。この地域のリゾートホテルは各部屋が、島から離れた海上に個別に建設された水上バンガローになっています。好きな時に自分の部屋から自由に海に飛び込み熱帯魚と一緒に泳ぎ回る事が出来ます。モーレア島の我々の滞在したリゾートは、海岸から約500mの位置にあるサンゴ礁で囲まれ、海上は全く波がなく驚くほど穏やかで薄緑色の美しい海でしたが、比較的強い流れのある事から海水は絶えず透明できれいでした。サンゴ礁のエッジ部分は白波が立っており、それから先は深い海を示す濃い青色でサンゴ礁の外は明らかに外洋の波のあるのが分かります。バンガローの周辺には多数の熱帯魚が泳いでいますが、約1メートルのエイがゆっくりと泳いでいるのを見つけたときには驚きました。島は比較的小さいのでレンタカーで容易に一周できます。タヒチは一度来る価値のある所と感じました。では、また　土井邦雄

 

 